

平成 17 年 第 1 2 回
箕面市教育委員会定例会会議録

箕面市教育委員会

平成17年第12回
箕面市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成17年12月13日(火) 午後1時30分

1. 場 所 箕面市役所 本館 3階 委員会室

1. 出席委員

委 員 長	小 川 修 一 君
委員長職務代理者	藤 井 富美子 君
委員長職務代理者	白 石 裕 君
委 員	坂 口 一 美 君
委員 (教育長)	仲 野 公 君

1. 付議案件説明者

教育推進部長	森 田 雅 彦 君
子ども部長	奥 山 勉 君
生涯学習部長	上 西 彰 君
教育推進部理事兼総務次長 兼次長(教育政策・学校管理担当)	栗 本 忠 夫 君
教育推進部次長(学校教育・ 人権教育担当)兼学校教育課長	前 田 健 君
子ども部総務次長兼次長	吉 田 直 彦 君
生涯学習部総務次長兼次長	塩 山 俊 明 君
教育政策課長	中 野 仁 司 君
学校管理課長	稲 野 公 一 君
教育推進部専任参事 (教職員担当)	森 井 國 央 君
人権教育課長	齋 藤 史 惠 君
教育センター所長	福 永 茂 君
子ども政策課長	千 葉 亜 紀 子 君
子ども支援課長	南 悦 司 君
子ども部専任参事 (幼稚園担当)	坂 上 潔 司 君
子ども部専任参事 (早期療育担当)	佐々木 久 雄 君
生涯学習課長	中 澤 博 君
生涯学習部専任参事 (中央生涯学習センター・西南公民館担当)	津 田 善 寿 君
生涯学習部専任参事 (東生涯学習センター担当)	加 藤 真 知 子 君
スポーツ振興課長	加 前 田 功 君
スポーツ振興課参事	松 尾 高 子 君

1. 出席事務局職員

教育政策課長補佐	小 山 登 志 子 君
教育政策課	森 貴 美 君

1. 議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指定
- 日程第 2 箕面市教育委員会委員長職務代理者の指定
- 日程第 3 平成18年度(2006年度)箕面市立小・中学校教職員人事基本方針の件
- 日程第 4 箕面市スポーツ施設情報システム利用者カード交付規則改正の件
- 日程第 5 箕面市立箕面文化・交流センター指定管理者候補者選定委員会設置要綱改正の件
- 日程第 6 平成17年第11回箕面市教育委員会定例会会議録の承認を求める件
- 日程第 7 教育長報告の件

(午後1時30分開会)

○委員長(小川修一君) : ただ今から、平成17年第12回箕面市教育委員会定例会を開催いたします。議事に先立ちまして、事務局から「諸般の報告」をしていただきます。

(事務局報告)

○委員長(小川修一君) : ただ今の報告のとおり、本日の出席委員は5名で、本委員会は成立いたしました。

○委員長(小川修一君) : それでは、日程第1、「会議録署名委員の指定」を行います。本日の会議録署名委員は、箕面市教育委員会会議規則第4条第2項の規定に基づき、委員長において仲野委員を指定いたします。

○委員長(小川修一君) : 次に日程第2、「箕面市教育委員会委員長職務代理者の指定」につきましては、平成17年12月20日をもって、藤井委員長職務代理者の任期が満了となられますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定により、新たな委員長職務代理者の指定を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(“異議なし”の声あり)

○委員長(小川修一君) : 異議なしと認め、委員の皆様で協議させていただき、新たな委員長職務代理者の指定をさせていただきます。それではご意見をお受けいたします。

○委員(藤井富美子君) : 白石委員にお願いしてはいかがでしょうか。

○委員長（小川修一君）：他にご意見はございませんか。

○委員長（小川修一君）：ないようでございますので、ただいまご推薦のありました白石委員に箕面市教育委員会委員長職務代理者をお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

（”異議なし”の声あり）

○委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。それでは白石委員、よろしくお願いいたします。

○委員長（小川修一君）：次に、委員長職務代理者が2名になりましたので、委員長の職務を代行する順位を、第1に藤井委員長職務代理者、第2に白石委員長職務代理者とさせていただきたいと思っておりますがいかがですか。

（”異議なし”の声あり）

○委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。委員長の職務を代行する順位を、第1に藤井委員長職務代理者、第2に白石委員長職務代理者とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（小川修一君）：次に日程第3、議案第62号「平成18年度（2006年度）箕面市立小・中学校教職員人事基本方針の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を教育推進部教職員担当専任参事に求めます。

（事務局：議案朗読）

○教職員担当専任参事（森井國央君）：本件は、豊かな学力を育む学校教育を展開し21世紀を担う人材を育成するために平成18年度の箕面市立小・中学校教職員人事基本方針を定める必要があり提案するものでございます。

○委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。

○委員（白石裕君）：今、地方分権が進む中で、学校の裁量権の拡大ということで、学校経営の観点非常に大事になってきています。その様な中で校長先生も長期に同一校に勤務していただき、経営の観点で学校経営をしていただくということですが、箕面市では、校長先生の同一校における勤務年数は、平均どれくらいですか。また、比較的若い教師を校長にするという要望が国の方であります。箕面市で若くて校長になれる年齢は、何歳か教えて下さい。

○教育推進部長（森田雅彦君）：校長の同一校における勤続年数につきましては、目安として3年から5年でございますが、退職される校長もおられますので目安として考え、適材適所に配置する考えでございます。また、校長の任用につきましては、大阪府の校長選考に合格された方の中から名簿登載という形で登録をしていただき、その中から箕面市が任用をするも

のでございます。平均年齢としては、大阪府では52歳、若い方では47歳から48歳と聴いております。校長選考につきましては、2年前に大阪府の人事委員会で改定され、41歳以上57歳以下の者を任用すると規定されております。

- 委員（藤井富美子君）： 来年度、校長で退職される方は何人ぐらいおられるのですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 来年度の定年退職者は、おりません。
- 委員長（小川修一君）： 急に申し出される場合もあるということですか。
- 教育推進部長（森田雅彦君）： 次年度につきましては、小学校、中学校とも定年退職者はありませんが、自己都合等で退職される場合があります。昨年度につきましては、年度末に2人の自己都合での退職者がございました。
- 教育長（仲野公君）： 大阪府都市教育長協議会、豊能地区の教育長協議会で人事に関する協議を行います。基本的に、一般教員を含め管理職もブロック内での人事交流、研修という意味での人事交流を行います。豊能ブロックにつきましては、管理職の内、校長職になってまで他市で勉強して戻ってくることは、実態にそぐわないということで一昨年からは校長職に限り人事交流はしておりません。退職者、管理職の登録者の状況で、人事交流も一定進めるという考えです。現在、箕面市では、豊中市へお世話になっております。
- 委員（坂口一美君）： 教職員のブロック交流は、どのくらいの周期なのですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 豊能地区の異動、三島地区の異動、府下的な異動があり原則3年を目途としておりますが、本人の希望、双方の教育委員会の了承のうえ、最大5年となっております。
- 委員（坂口一美君）： 最大5年がたてば、戻るということですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 原則5年ですが、特別な事情がある場合、まれではありますが高齢のまま残られるケースもあります。
- 委員（白石裕君）： 教員の不祥事が相次いでおります。教員の適格性が問われておりますが、箕面市の場合、教員の指導力不足などで特に研修を受けている教員はいるのですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： ここ数年の間では、指導力不足で特別に研修を実施していることはありません。
- 委員（藤井富美子君）： 教師の男女の比率、年齢構成を教えてください。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 小学校では、男性28対女性72、

中学校では、男性53対女性47、平均年齢は、小学校で46.1歳、中学校で47.0歳となっております。

- 委員長（小川修一君）：年次的な推移はわかりますか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）：ここ5年間は、小学校で46歳代で横ばいでございます。中学校では、平成13年が45.1歳、平成17年が47歳と年齢が上がっております。
- 委員長（小川修一君）：将来的な見通しは、どうですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）：小学校は、新任の教員がふえておりますので、平均が下がっております。中学校では、この数年がピークで定年退職者が多いので平均が下がってまいります。
- 委員長（小川修一君）：教員の高齢化が解決されるということですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）：中学校におきましては、まだ少し高齢化が続くと思われれます。
- 教育長（仲野公君）：教職員の年齢構成がワイングラス状といわれております。団塊の世代といわれている教職員が、ここ4、5年で退職してまいります。その事により新規採用の教員が多くなり、先ほど白石委員がいわれました、新しい教員の研修が非常に大事な時期になってまいります。あわせて、管理職の年齢も非常に若くなってまいります。その事が人事の刷新に繋がるのか、また、その事を課題と認識しておく必要があるのではないかと、これは全国的な状況ですが、教職員の人事について議論をしている状況です。
- 教育推進部長（森田雅彦君）：ここ10年間で半数以上の教員が入れ替わってまいります。今進めております教育内容、箕面の小学校・中学校で特色ある学校づくりを進めておりますが、それをどの様にうまくバトンタッチをするのが大きな課題となっております。新規採用がこれから増えてまいります。大阪府の採用も、小学校で一時50人であったのが、今年度は1300人を超える状況となっております。その新規教員をどの様に育てていくかを事務局として指導主事を中心として今年度中に策定するため研修のあり方、市教育委員会の責任、各学校でしていただく事を分けたシステム作りに取り組んでおります。
- 委員長（小川修一君）：新任研修の制度が確定してきていると思うのですが、府として実施しており、市独自でも実施している事業もあると思うのですが、いろいろと年次的に変化が見られるのですか。
- 教育推進部長（森田雅彦君）：府も小・中学校合わせ2000人を超え、一斉にする初任者研修の実施が難しくなっております。市に依頼があり、市として現在のところ、年9回実施する形でございます。年間60日の研

修がありますが、年々、府の研修が少なくなり市の研修が増えていく状況でございます。

- 委員（藤井富美子君）：最近は、これまでの教員の職務以外の児童の登下校のパトロール等が職務となっていており拡大されてきておりますが、そういうことに対する配慮はあるのですか。
- 教育推進部長（森田雅彦君）：子ども達の学校における安全の確保については、広島県・栃木県の事件など小学校1年生の登下校時の痛ましい殺傷事件が起きております。何処で何時何が起こるかわからない危機感を教師に持っていただくと共に、その様な事が起こらないような目配り、気配り、また、校内での研修を各学校に実施していただくようお願いしております。安全面に充分気を遣っていただきながら、子ども達の学力、心の教育、健康、体力も身に付くようお願いをしております。職務の中に全て含まれておりますが、いつも危機意識を持ち取り組んでいただくように教育委員会としてもお願いをしております。また、教育委員会3部と市長部局とで子ども達の下校時間に併せて東部と西部に分かれパトロールを実施しております。
- 委員（坂口一美君）：新卒の教員の指導、研修は、箕面市としてどのようにされているのですか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）：新任教員には、新卒、他府県からの転任、又は社会人からの新任などおられます。その方達がスムーズに教員として働けるように配置については考えており、配置された学校では、必ず指導教員を付けるようにしております。
- 教育センター所長（福永茂君）：新任の方は、府に25回、市に9回の研修に参加されており、ベテランの教員や初任者の授業を見る等、様々な体験を通した研修を組み込んでおります。研修会后、意見交換の場を持つなどいたしております。指導につきましては、指導主事が現場に入れるようなシステムを来年度に向け計画を立てております。
- 委員（坂口一美君）：若い教員が社会経験もなく、即、クラス担任にすることは、いろんな意味で心配があると思います。他の職場での経験を積むような研修も必要ではないかと思えます。
- 教育センター所長（福永茂君）：府の研修のなかで、社会体験研修というのがあります。近辺の企業等に自分たちでアクセスし、体験場所を確保しグループごとに社会体験研修を受けるというものです。市の研修の中でも、救急手当、自然体験など様々な事業の中で経験が積めるような研修を考えております。
- 委員（白石裕君）：採用時に、どういう点に重点を置いて採用するのか

が大事であると思います。最近では、学力ではなく、人間性を見ることがポイントだといわれてきております。教員の採用時にはその様な点を考えていただきたいと思います。

○教職員担当専任参事（森井國央君）：今年度の府の採用につきましては、豊かな人間性、社会性、専門性の3点を重要視して、面接の基準としております。その中でも人間性を重視しております。

○委員長（小川修一君）：新任の教員の研修時には、学校現場を離れることになるのですが、その時の補充の制度はあるのですか。

○教職員担当専任参事（森井國央君）：現在、退職された教員が非常勤特別嘱託員として各学校に数名おりますので、教員が研修にでられたときは補充することになっております。

○委員長（小川修一君）：新任教員が研修等で学校現場を離れることに不安を感じるのですが、その事は、現場としては管理職、同僚の教員が配慮していると思うのですが、実態はどうですか。

○教職員担当専任参事（森井國央君）：新任教員については、管理職を中心に、同僚の教員と一緒に学校全体でカバーする体制を取っております。

○委員長（小川修一君）：他にご質問ご意見はございませんか。

○委員長（小川修一君）：ないようでございますので、議案第62号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（“異議なし”の声あり）

○委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。

○委員長（小川修一君）：次に日程第4、議案第63号「箕面市スポーツ施設情報システム利用者カード交付規則改正の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を生涯学習部スポーツ振興課長に求めます。

（事務局：議案朗読）

○スポーツ振興課長（前田功君）：本件は、箕面市立総合運動場の管理運営を指定管理者に行わせること並びに大阪電子自治体推進協議会スポーツ施設情報システム事業部会のシステムの変更に伴い、本規則の規定を整備するため一部改正を提案するものでございます。

○委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。

○委員長（小川修一君）：ないようでございますので、議案第63号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（“異議なし”の声あり）

○委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。

- 委員長（小川修一君）：次に日程第5、議案第64号「箕面市立箕面文化・交流センター指定管理者候補者選定委員会設置要綱改正の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を生涯学習部生涯学習課長に求めます。

（事務局：議案朗読）

- 生涯学習課長（中澤博君）：本件は、箕面市立箕面文化・交流センター指定管理者候補者選定委員会の委員構成を変更することとし、関係規定を整備するため、本要綱の一部改正を提案するものでございます。
- 委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員（白石裕君）：変更される選定委員の学識経験者の選定については、人選の案があるのですか。
- 生涯学習課長（中澤博君）：後任候補者の委員につきましては、箕面サンプラザ等の公共施設再配置計画の検討懇話会の座長をしていただいた大阪市立大学の加藤先生をお願いしたいと考えております。
- 委員長（小川修一君）：他にご質問ご意見はございませんか。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、議案第64号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。
- （“異議なし”の声あり）
- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。
- 委員長（小川修一君）：次に日程第6、報告第46号「平成17年第11回箕面市教育委員会定例会会議録の承認を求める件」を議題とします。議案の朗読を省略し、提案理由を教育推進部総務次長に求めます。
- 教育推進部総務次長（栗本忠夫君）：本件は、去る11月8日に開催されました「平成17年第11回箕面市教育委員会定例会会議録」を箕面市教育委員会会議規則第4条の規定に基づき提案するものでございます。
- 委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、報告第46号を採決いたします。本件を報告どおり承認することにご異議ございませんか。
- （“異議なし”の声あり）
- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は報告どおり承認されました。
- 委員長（小川修一君）：次に日程第7、報告第47号「教育長報告の件」を議題といたします。教育長に報告を求めます。
- 教育長（仲野公君）：（議案書29頁、30頁及び31頁により報告）

『教育推進部関連』

【豊能地区教育長協議会・人事協議会】

○2日に豊能地区の教育長協議会と人事協議会が豊中の教育センターにおいて開催され、次年度の管理職選考及び人事交流等について情報交換を行いました。

【豊能地区教育長協議会】

○9日に豊能地区の教育長の管外研修として西宮市スポーツセンターの指定管理者制度の取り組みについて視察を行い、課題等について学ぶことができました。

【大阪府都市教育長協議会】

○11日に昨年箕面市が担当し勝尾寺で開催いたしました大阪府都市教育長協議会の秋季研修会が泉南市埋蔵文化センターで開催され、泉南地区の歴史、文化施策に対する施策について学ぶことができました。

【水と緑の健康都市小中一貫校シンポジウム】

○19日に止々呂美地区の開発に伴う小中一貫校の整備に関するシンポジウムを62名の参加のもとグリーンホールで開催し、理解と協力を求めました。

【中学校の優勝報告】

○21日に第三中学校の野球部が、創部3年目にして大阪大会で優勝しましたので激励を行いました。

○24日に第四中学校のテニス部が大阪大会で2年連続して優勝しましたので激励を行いました。

【その他】

○8日の教育委員会定例会の後、第六中学校、東小学校及び豊川北小学校の「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業研究発表会」に教育委員会委員も参加をしていただきました。

○25日に、教育委員会委員による30人規模学級の勉強会をしていただいた後、萱野東小学校の「豊かなコミュニケーション能力の育成」と題しての公開授業に参加していただきました。

『子ども部関連』

【児童虐待防止ネットワーク代表者会議研修】

○7日に会議を開催し、法改正に伴う「要保護児童対策地域協議会」の立ち上げに向けての研修会を実施いたしました。

【青少年弁論大会】

○19日に箕面ライオンズクラブと共催による第24回箕面市青少年弁論大会を石田市議会議長など多くの参加者のもと17名の生徒達がそれぞれ

の思いを語ってくれました。

【市立保育所民営化方針・定員増説明会】

○現在保育所の民営化について保護者など関係者に説明し、協議を進め理解と協力を求めています。12日、市長共々出席しました協議会、24日・26日、民営化を実施する予定の桜、瀬川保育所に説明会をいたしました。この後も残りの全ての保育所に順次説明をすることとしています。

○9月議会に「箕面市の保育所のあり方について慎重かつ十分な議論を求める請願」が保護者から提出され不採択となり、12月議会に「地域住民の財産である公立保育所をなくさないでください」という請願が保護者から1万1千名余りの署名を付して提出され、去る5日の文教常任委員会で不採択となっています。

【こども会ドッジボール大会】

○27日に第27回こども会ドッジボール大会を開催し、77チーム、関係者1200名近い人達の参加のもと盛大に開催いたしました。ソフトボールとは逆に年々参加チームが増える傾向にあります。

『生涯学習部関連』

【秋季市民体育大会】

○第49回秋季市民体育大会が、テニス、バレーボール等競技種目毎に順調に開催いたしています。

【シンポジウム『箕面山に生息するサルを考えよう』】

○26日に箕面山の天然記念物として指定されている猿が適正頭数を大幅に上回り被害も続出していることから、広く市民に課題も含め理解していただくため、「山の隣人」と題してシンポジウムを開催し、有意義なうちに終えることが出来ました。

『その他』

○広島、栃木及び京都での児童が誘拐・殺傷されたことに伴いその都度、注意喚起をする文書を送付し関係者の協力を求めると同時に箕面市が11月からスタートしました安全メールの配信と青色パトロールによる巡回を実施しております。

○委員長（小川修一君）： それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。

○委員（藤井富美子君）： 箕面市内でインフルエンザで学級閉鎖は何校あったのですか。

○教育推進部次長（前田健君）： 小学校で2学級の学級閉鎖がありました。

○委員長（小川修一君）： 他にご質問ご意見はございませんか。

○委員長（小川修一君）： ないようでございますので、報告第47号を採決いたします。本件を報告どおり承認することにご異議ございませんか。

(“異議なし”の声あり)

- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり承認されました。
- 委員長（小川修一君）：以上をもちまして、本日の会議日程は、終了しましたが、「その他、教育行政に係る報告」があれば、申出を受けますが、いかがですか。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、本日の会議は、全て終了し、付議された案件、議案3件、報告2件、すべて議了いたしました。これをもちまして、平成17年第12回箕面市教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時35分閉会)

以上のとおり会議の次第を記し、相違ないことを認めたので、ここに署名する。

箕面市教育委員会

委員長

小川修一

委員

神野公